

## 1. 基本方針の位置づけ

JリーグいわきFCの新スタジアム整備候補地として小名浜港が選定されたことを契機に、小名浜港周辺エリアの賑わい創出、交流人口拡大、エリア価値の向上が期待されています。

その効果を市内全域に波及させるため、当該エリアにおける防災や交通対策といった課題や市として担うべき役割等を整理し、課題解決に向けた方向性を整理するため、エリア価値の向上に向けた可能性調査を実施しました。

検討にあたり、学識経験者や関係団体等で構成する「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」において協議・調整を行い、官民が連携して取り組むべき施策を整理し、基本方針として取りまとめたものです。

## 2. 新スタジアム整備の概要

現行のハイアンススタジアムは、J3基準となっていますが、Jリーグの「例外規定」を適用してJ2リーグに参戦しています。Jリーグが定める基準を満たすべく、**座席数は8千人～1万人規模**として、新スタジアムの計画をいわきSCが中心となって進めています。

▼新スタジアムのイメージ図（いわきSC作成）



## 3. エリア価値向上に向けたアクアマリンパーク周辺の課題

アクアマリンパーク周辺では、アクアマリンふくしまをはじめ、いわき・ら・ら・ミュウやイオンモールいわき小名浜といった集客施設を有し、**陸・海の拠点としての性格**を有しています。

各施設の利用者数は近年増加傾向を示しているものの、**いまだ震災の影響が無視できない**状況にあり、新スタジアムなどの新たな起爆剤と連携しながら、これまで以上の集客力の強化が望まれます。ただし、アクアマリンパークは交通混雑や津波リスクを抱えており、集客力の強化にあたって解決すべき課題を複数抱えています。

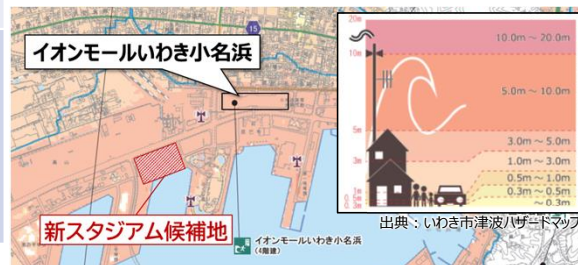
▼小名浜エリアの価値向上に向けた課題

分類	課題
共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>工業港・漁業港としての性格も有しており、これらの機能と、強化をめざす<b>賑わい機能（集客）が共存</b>するための工夫が必要</li> </ul>
交通対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日の日中に施設利用者が<b>集中</b>するため、試合開催日を中心とした<b>広域からの集客に対する円滑な交通処理</b>が必要</li> <li>多様な属性の方々<b>がアクアマリンパーク周辺にアクセス・回遊</b>できるよう、<b>自家用車以外の複数の交通手段の確保</b>が必要</li> </ul>
津波避難対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>津波避難ビルに指定されているイオンモールいわき小名浜とも連携しながらエリアとしての<b>安全性確保</b>が必要 (スタジアム候補地付近では最大5m程度の津波浸水が想定)</li> </ul>

▼アクアマリンパーク周辺の状況



▼小名浜エリアの津波ハザードマップ



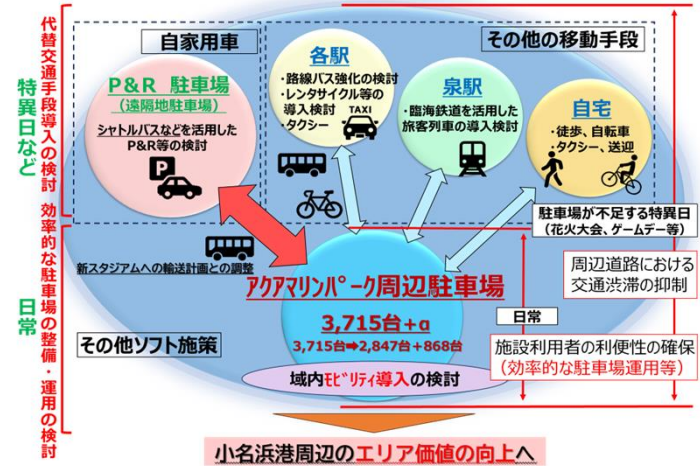
## 4. 対策の基本的考え方

課題の解決にあたっては、単純な交通対策・津波避難対策ではなく、それらの組み合わせや対策の副次的な効果も想定しながら、**各施設や取組の連携を前提としたエリア価値の向上**をめざします。

### (1) 交通混雑対策

アクアマリンパーク周辺では、利便性確保を前提として、駐車場不足が予想される**特異日について、P&Rや公共交通機関の活用等の代替交通手段を導入**することで、渋滞を抑制しながらの円滑なアクセスをめざします。また、日常の利便性確保のため、スタジアム整備に伴い**減少する台数相当の駐車場整備**を行います。

▼アクアマリンパーク周辺での交通対策の基本的な考え方



### (2) 津波避難対策

当該エリアは津波浸水想定区域に指定されており、**近隣に避難施設が1箇所しかない**状況を踏まえ、**エリア全体としての津波避難対策の考え方を整理**しました。その上で、対策の方向性について検討しました。

- 新スタジアム整備に伴うエリアの価値向上により、更なる来訪者増加が見込まれる中で、**より確実かつ安全に避難できる環境構築**を目的し、以下の視点によりエリア内に**新たな避難場所の確保**を検討する。
  - 避難先の分散：現状で1箇所である避難先への**集中回避**、混乱を減らす状況に応じ、より安全な場所へ
  - 避難時間の短縮：**より近い避難場所**への避難を可能に
  - 避難環境の改善：避難先での混雑による避難者の**ストレス緩和**
- 要支援者については、**モビリティ避難等の対応策**を検討する。
- コミュニティレジリエンス**による地域の強靱化

▼アクアマリンパーク周辺での津波避難の考え方



## 5. アクアマリンパーク周辺におけるエリア価値向上のコンセプト

アクアマリンパーク周辺におけるエリア価値向上のコンセプトは以下のように掲げます。アクアマリンパーク周辺の空間構成を見直すとともに様々なソフト施策も組み合わせて賑わいを創出していきます。

### ① アクアマリンパークの“面的な”価値向上

- ▶ “海”や“港”の雰囲気を活かした「海が感じられるまち」を念頭に、**エリアとしての相乗効果を生むような歩行者空間化と賑わい施設の一体的に配置**
- ▶ 多様な交通手段に対応することで、子どもからお年寄りまでの幅広い世代が**ストレスなく来訪・回遊**できる仕組みの構築

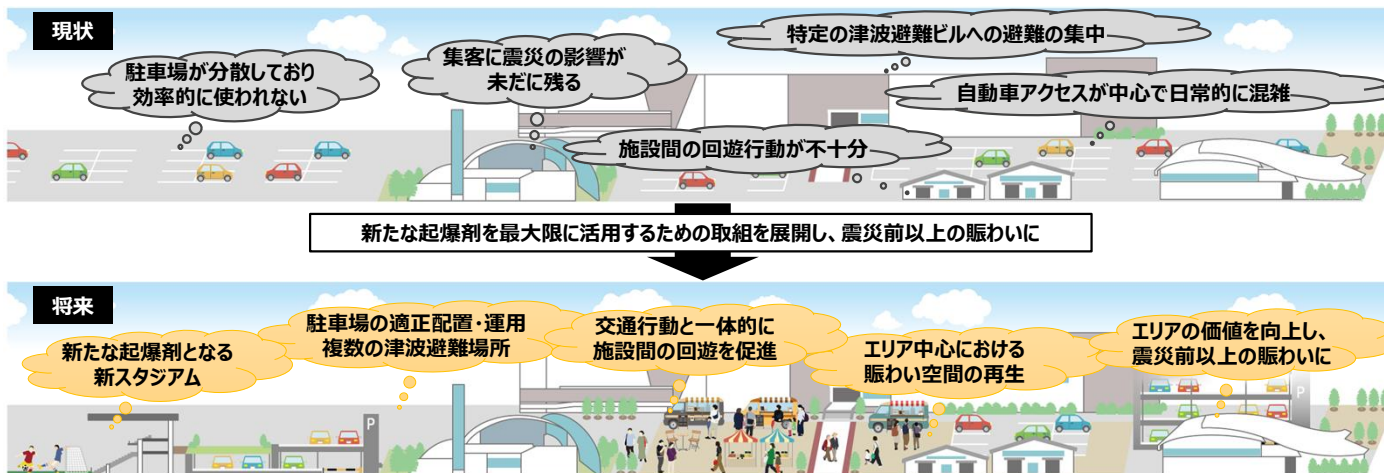
### ② 歩行者と自動車利用の利便性及び快適性向上

- ▶ アクアマリンふくしま、ら・ら・ミュウ、イオンモール、新スタジアム等を**安心・安全かつ快適に回遊**できるような歩行者を中心とした動線を構築
- ▶ アクアマリンパーク内の駐車場については、利便性等も踏まえた配置や誘導方を検討するとともに、**通常・非常時の交通安全性や円滑性に配慮して、歩車の動線を分離**

### ③ 安心・安全な来訪を実現するエリアとしての安全性向上

- ▶ 代替駐車場は、**最上階を避難・防災備蓄スペース**として兼用で整備するとともに、**オープンスペースとの連続性**にも配慮し、賑わい創出にも寄与。
- ▶ この新たな避難施設を確実に運用するとともに、**エリア全体の防止力向上に向けて、コミュニティ・レジリエンスを強化**

### ▼小名浜港周辺エリアにエリア価値向上のコンセプト（イメージ）

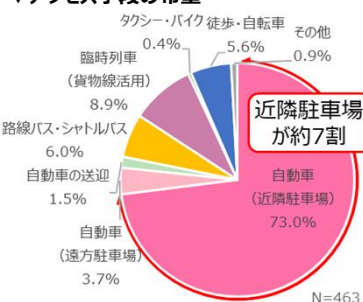


## 6. コンセプト実現に向けた対策メニューの例（主に交通混雑・津波避難対策）

### (1) 交通混雑対策

アクアマリンパーク周辺へのアクセスに際しては、**約7割の方が自動車**による近隣駐車場の活用を希望（アンケート調査による）しています。交通混雑の緩和に向けて、**多様な交通手段によりアクセス**できる環境を整備していきます。

#### ▼アクセス手段の希望



### ① 自動車交通

自動車による日常的なアクセス利便性や、休日を中心とした集客に伴う**渋滞の抑制**については、代替駐車場の整備に加えて、右に示すような対応方針のもと、**ハード・ソフト両面**から検討を進めます。

また、小名浜エリアとしての産業機能との共存にあたっては、**交通安全面にも十分に配慮した運用**の検討を進めます。

- 対応方針1：小名浜小野線・臨港道路への誘導**
  - 観戦者への周知（HP・SNS）、来退場ルートの明示（看板・路面表示）等
- 対応方針2：交差点改良・泉方面ルート調整**
  - 歩車分離化・信号時間調整・右折車線延伸（アクアマリン交差点）等
- 対応方針3：来退場車両への注意喚起・周知**
  - 誤進入防止対策、観戦者への注意喚起・来退場通行位置明示・周知 等
- 対応方針4：現地への自動車利用の抑制**
  - アクアマリンパーク内の駐車場は必要最小限の整備・有料化検討
  - 自動車以外の交通手段確保・インセンティブ付与、隔地駐車場の確保 等
- 対応方針5：駐車場の適正配置・誘導**
  - 駐車場出口箇所・動線の分散、各駐車区画への適切な誘導 等
- 対応方針6：来訪・帰宅ピーク分散の仕掛け**
  - 観戦チケット提示による特典、試合前後でのイベント開催 等

#### ▼対応方針1・来退場ルートの誘導イメージ



### ② 公共交通等による代替交通手段

サッカーの試合開催日を中心とした特異日を中心に、**公共交通などを強化・活用**することにより、自動車に頼らなくとも快適にアクセスできる環境整備を行います。

#### A. 路線バス

- いわき駅をはじめ、**市内各駅から小名浜を結ぶ路線バス**を強化・活用します。
- 具体的には、ナイター開催日の帰宅時のダイヤ設定など、**増便・急行便・臨時便**の設定を検討します。

#### B. レンタサイクル/タクシー

- その他の交通手段との関係も含めて、エリアの価値向上の観点から導入可否も含めて検討します（**相乗りタクシー**等）。

#### C. 福島臨海鉄道

- 現在、貨物専用で運行されている**福島臨海鉄道を活用**し、旅客運行の可能性を検討します。
- 旅客運行に向けては、様々な投資が必要となり、**市民や事業者の理解や協力がなければ実現が困難**であり、関係機関との協議を慎重に進めます。

#### D. 隔地駐車場（P&R）

- アクアマリンパーク周辺に整備する代替駐車場に対応できない**特異日の駐車需要に対して隔地駐車場**を確保します。
- エリア全体の集客力強化（長時間滞在）の観点から、**ナイターは徒歩圏、デーゲームはシャトルバス**を中心とした運用を検討します。

### (2) 津波避難対策

アクアマリンパーク周辺の集客力の強化に伴い、**新たな避難場所の確保**を検討します。それらの施設を前提としながら、エリアとしての津波避難の考え方も整理していきます。また、**各施設からの避難誘導のあり方**についても、各施設管理者とも協議しながら調整するとともに、**エリア全体の防止力向上に向けて、コミュニティ・レジリエンスを強化**を目指します。

### (3) 賑わい創出

周辺施設との相乗効果や、防災・交通・賑わい創出といった**まちづくりとの連携**などの多角的な観点からの検討を踏まえ、公共機能の導入（【仮称】地域交流センター）についてエリア内への配置を検討します。

## 7. アクアマリンパーク周辺におけるインフラ整備と動線のイメージ

AMパーク駐車場については、GWや夏休みシーズン等の混雑期にはエリア全体が満車になることが関係者へのヒアリングによって確認されました。新スタジアム候補地として検討されているW2およびW3駐車場の868台分の駐車場が減少する見込みであり、これに対応する代替駐車場の確保を進めます。

今回は代替駐車場の選定にあたり、右図のような公共用地を対象として、「エリア価値」、「交通への影響」、「防災」、「駐車場の規模」といった多角的な視点で整理したところです。

今後は、この整理結果を基本として、民間所有地からも候補を抽出しながら比較検討することで、エリア価値の向上や交通に与える影響、防災対策等を踏まえ、代替駐車場の適地を整理していきます。

また、アクアマリンパークのエリア価値向上に向けて、円滑な自動車・歩行者動線（人道橋）の確保はもちろん、歩行者動線を中心に賑わいを生む広場機能を配置するなど、各施設の回遊性を高め長時間滞在を促すための空間構造についても、代替駐車場の選定と一体的に検討していきます。

### ▼現状の駐車場台数

駐車場	台数
E1	452台
E2	28台
E3	55台
E4	149台
E5	57台
E6	18台
E7	419台
E8	81台
E9	1122台
E10	184台
W1	282台
W2	107台
W3	761台
合計	3715台

スタジアム候補地

### ▼インフラ整備・動線のイメージ



エリア価値の向上や、交通における課題解消、防災の観点での一時避難所など各視点に寄与するような、駐車場、横断施設の立体化を踏まえた整備検討と屋上広場の一体利活用なども検討していく。

## 8. 今後のまちづくりの進め方

### (1) 取組の役割分担と時間軸（ロードマップ）

代替駐車場をはじめとするハード整備については、いわき市を中心に関係機関とも協議しながら着実に対応していきます。その施設の効果的に活用するためのソフト施策については官民で連携しながら深度化していきます。その他、エリア価値向上に向けたプロモーション等は、スタジアム開業や施設整備を待たずに早期の取組みを目指します。

#### ▼取組の展開イメージ（ロードマップ）



### (2) 今後の深度化に向けて

基本方針の検討にあたっては、「小名浜港周辺エリアにおける防災・交通対策協議会」において、学識経験者や小名浜港周辺エリアで活動する事業者や団体と意見交換をしながら検討を進めました。

今後の整備メニューの具体化に向けては、メニューそのものの合意形成に加えて、官民の役割分担のもとに実現していく必要があります。今後は、当該エリアのエリア価値向上を目指し、「(仮称)小名浜港周辺エリアにおける価値向上協議会」を親会として分科会を設定し、テーマを分けながら深度化・実現に向けた協議・調整を行う予定です。

#### ▼R8年度以降の組織体の運営

### (仮称) 小名浜港周辺におけるエリア価値向上協議会（親会）

